

**「(仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画書(素案)」**

**市民意見募集実施結果**

**2014年6月**

**町田市**

## 「（仮称）町田市立国際工芸美術館整備基本計画書（素案）」に対する 市民意見募集結果について

町田市は、（仮称）町田市立国際工芸美術館の施設整備や事業運営の基本的な考え方を示す「（仮称）町田市立国際工芸美術館整備基本計画書」の策定にあたって、広く市民の皆さんのご意見を伺うため、計画書の素案を公表し、意見を公募しました。実施結果は以下のとおりです。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

### 1 意見募集期間

2014年3月26日（水）～4月25日（金）

### 2 意見募集方法

#### ＜資料の閲覧及び配布＞

○町田市ホームページに資料を掲載。

○文化振興課（市庁舎10階）、市立博物館、市民相談室（市庁舎1階）、市政情報課（市庁舎1階）、各市民センター、町田・鶴川・南町田の各駅前連絡所、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、各市立図書館、町田市民文学館、生涯学習センター、男女平等推進センター（市民フォーラム3階）での資料閲覧、および配布。

#### ＜意見提出方法＞

- ① 郵送……………配布資料に添付されている専用封筒（料金受取人払郵便）を利用するか、町田市文化スポーツ振興部文化振興課（〒194-8520 町田市森野2-2-22）へ
- ② ファクシミリ……050-3085-6554
- ③ Eメール……………mcity1170@city.machida.tokyo.jp
- ④ 窓口への提出……町田市文化スポーツ振興部文化振興課（市庁舎10階）ほか、上記資料閲覧・配布窓口へ

### 3 寄せられたご意見

11名の方からご意見をいただきました。寄せられたご意見の要旨と、それに対する市の考え方は次のとおりです。

ご意見	市の考え方
1. アクセスについて(3件)	
<p>周辺環境を考慮すると良い場所であるが、高低差が大きいので交通アクセスを十分に配慮することは重要である。具体的には、歩行者にはエレベーター、車の利用者にはコミュニティバスを検討してもらいたい。</p>	<p>工芸美術館内にエレベーターを設置し、そのエレベーターを芹ヶ谷公園や国際版画美術館のお客様にもご利用いただけるようにすることで、徒歩でのアクセス向上を図ります。</p> <p>また、徒歩以外のアクセスについては、本計画を進める中で、可能な方策について研究してまいります。</p>
<p>国際版画美術館は現状、交通の便が悪いため、これを機に改善できるよう期待する。歩く感覚を楽しみながら行けるような美術館となることを願う。</p>	<p>工芸美術館内にエレベーターを設置し、そのエレベーターを芹ヶ谷公園や国際版画美術館のお客様にもご利用いただけるようにすることで、徒歩でのアクセス向上を図ります。</p> <p>町田駅から芹ヶ谷公園までの道のりに案内標識を設置するなど徒歩でお越しいただく方に配慮した方策の検討も進めてまいります。</p>
<p>市の施設をめぐるコミュニティバスを美術館にも持たせてもらえないか。</p>	<p>徒歩以外のアクセスについては、本計画を進める中で、可能な方策について研究してまいります。</p>
2. 建設候補地について(4件)	
<p>工芸美術館の設置場所周辺については、既存の樹木などはできるだけ残しつつ、建物をせせらぎに沿わせるようにしてはどうか。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、自然と調和を図った建物を検討してまいります。</p>
<p>美術に興味のある人よりも、自然豊かな公園で子どもを遊ばせたい人のほうが多いのではないかと。建設予定地は芹ヶ谷公園の中でも木々が美しい場所であり、街の魅力を低下させる。よって、この場所への建設は反対である。</p>	<p>工芸美術館は、公園内の美術館として自然や地形と調和した、周辺環境を活かした施設を目指しております。また、国際版画美術館とともに文化芸術でにぎわう“美術ゾーン”の実現とイメージ形成を図り、これにより芹ヶ谷公園の魅力をさらに高めるため、候補地の選定を行っています。</p>
<p>エレベーターを設置することでアクセス改善に劇的な効果は望めないのではないかと。建設地は、旧市庁舎が望ましいのではないかと。</p>	<p>斜面に囲われ窪地となっている芹ヶ谷公園は周囲と大変な高低差があります。エレベーターを設置することは家族連れやご年配の方まで多くの方に気軽に公園や美術館をご利用いただける有効な改善のひとつと考えています。</p>
<p>エレベーターの設置は美術館とは別問題である。国際版画美術館北側は公園平地を分断するため、動線と景観の視点から望ましくない。見晴らしのよい町田荘跡地のほうが優れている。</p>	<p>工芸美術館の建設地は中心市街地からのお客様をお迎えするため、アクセス、施設の管理運営などを比較検討した結果、版画美術館北側としたものです。町田荘跡地は、多くの方にご利用いただけるような活用方法を検討してまいります。</p>

ご意見	市の考え方
3. 事業について(6件)	
親しみの持てる展示企画や、市民が体験できるコーナーがあると良いと思う。(例:相模原市の陶芸窯)	工芸美術館内に市民が利用できる工房や体験プログラムを計画しております。いただいたご意見は、今後、事業計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。
常設展はストーリーをもってすべての物を工夫して展示すること。	工芸美術館には、今の博物館にない常設展示室(コレクションルーム)を設置する予定です。展示を工夫し、市の財産である収蔵品を分かりやすくご紹介しながら工芸美術を楽しむ環境を実現してまいります。
見やすく、わかりやすい解説とすることが重要だと思う。	展示解説については、来館者と作品をつなぐ、重要な要素のひとつと認識しております。いただいたご意見につきましては、今後、管理運営計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国からの来館者を獲得できるような、日本の作家の作品を活用した企画展示を計画してはどうか。</li> <li>・国宝や重要文化財など著名な作品があれば集客につながるのではないか。</li> </ul>	いただいた展覧会の内容や館の運営などへのご意見は重要な課題と認識しております。今後、管理運営計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。
美術館では所蔵資料を基軸としての研究が多いかと思うが、全国の研究者と協力して、未来に向けた研究を進めることで、新しい“町田らしさ”の開発と発信につなげられるのではないか。	他の研究機関等との連携や研究活動への積極的な取組については、専門美術館として事業を展開していく上で、重要な活動と認識しております。いただいたご意見につきましては、今後、事業計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。
作品を単に展示するだけでなく、そこから伺える文化と私たちのかかわりなどについて考えたうえで、展覧会を構成するべきではないか。	町田市にはチェコガラスをはじめ、日本、中国、東南アジアの陶磁器などの優れたコレクションがあり、各国との文化交流や生活様式、芸術的表現など多様な視点から鑑賞することができます。こうしたコレクションや他の工芸美術を通じて、市民が良質な文化芸術に触れられる機会を提供してまいります。
4. 施設について(5件)	
エレベーターは少なくとも8:00~18:00まで利用できるようにしてもらいたい。	工芸美術館内に設置するエレベーターは、工芸美術館の来館者だけでなく、芹ヶ谷公園や国際版画美術館のお客様にも自由に利用していただけるよう、配置や利用時間を検討してまいります。いただいたご意見につきましては、その検討の中での参考とさせていただきます。
美術館に付帯するレストランは、非日常を演出し、町田の自慢となり、なおかつ集客できるようなものとなるよう工夫するべきである。	いただいたご意見につきましては、今後、施設計画および管理運営計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。

ご意見	市の考え方
4. 施設について(5件)	
ユニバーサルデザインは賛成である。	多くの方にご利用いただきやすい施設を目指してまいります。
国際版画美術館との連携や市民参加の機会創出という点を踏まえると、来館者や関係者が気楽に休憩できる場所は確保しておくとうまいだろう。また、周りに店舗も少ないので、雨をしのげ、トイレがあり、飲食ができる空間は必要と考える。3,000㎡は少し狭いのではないか。	気軽に休憩できるスペースの確保については、開かれた美術館を実現していく上で、重要な課題と認識しております。いただいたご意見については、今後、施設の設計を検討していく上で、参考とさせていただきます。
国際版画美術館との間に、来館者同士が交流を深めることができ、四季折々の風景を楽しめるようなオープンエアのスペースを作ってほしい。	いただいたご意見については、今後、施設の設計を検討していく上で、参考とさせていただきます。
5. 公園全体について(1件)	
芹ヶ谷公園は、市の方針に沿い、健康福祉や青少年教育などさまざまな部門と連携を図ったうえで利用者の意見を取り入れ、全体の利用計画を立てること。	芹ヶ谷公園の全体構想について、2014年度から庁内横断的に検討を進めてまいります。いただいたご意見につきましては、その検討の中での参考とさせていただきます。
6. 運営について(6件)	
館内は全て展示エリアの考え方くらいに工夫された。	空間の活用につきましては、本計画にもあるとおり、展示室の外でも作品鑑賞できるスポットや館外の景色をみることができるところを設けるなどして、館内全体を楽しめる演出を検討してまいります。
良質で高度な文化に触れる機会を市民に提供する場合に、上から与えてやっているかのようにならないように心がけてほしい。	美術館そのものや所蔵品、さらに美術館のさまざまな活動がもたらす成果はすべて、市民の所有する財産であると言えます。いただいたご意見につきましては、今後、事業計画を検討していくうえで、参考とさせていただきます。
入館料について、市民や市内就業者への大幅な割引が必要ではないか。市民に文化芸術に触れる機会を継続的に提供することで、「シティ・アイデンティティの向上」と「市民意識の文化芸術への満足感向上」を目指していくことが、本計画の主旨に沿うのではないか。	“文化芸術の魅力あふれるまち”の実現と、市民が良質な文化芸術に触れる機会を提供することについては重要な課題と認識しております。入館料につきましては、今後、管理運営計画を作成していくうえで、検討を進めてまいります。
観光協会と協議をすすめて「美術ゾーン」形成組織を作っていくのも良いのではないか。そこで、お手軽な観光ニーズに応じる施策を検討していくのも良いのではないか。	観光コンベンション協会をはじめ、様々な団体と連携していくことは重要であると認識しております。いただいたご意見につきましては、今後、事業計画および管理運営計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。

ご意見	市の考え方
6. 運営について(6件)	
美術館そのものについてのPR活動を継続して実施してほしい。	PR活動については、本計画で「事業活動の基本的な考え方」においても重要な活動と位置づけております。いただいたご意見につきましては、今後、事業計画を検討していく上で、参考とさせていただきます。
目標来館者数が無謀である。根拠は何か。	国際版画美術館実績値の5年平均の数字を目標としています。多くの方にお越しいただくために、魅力のある展示と事業を行なって積極的に来館者数の向上を図ります。また国際版画美術館の事業との相乗効果も見込んでいます。
7. スケジュールについて(1件)	
工芸美術館はいつできるのか。	基本計画完成後は、設計や建設など順次進めてまいります。
8. 計画全般について(10件)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を目的とした工芸美術かを明確にされたい。</li> <li>・「工芸美術」とは何を指すのか具体的に表現をすべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立博物館では1980年代からガラスや陶磁器の収集を行い、他にない充実した内容のコレクションを所蔵しています。市の財産であるこうした貴重な作品を広く公開することで、町田市のシティーセールスやまちの賑わいの創出をはかってまいります。</li> <li>・工芸美術にはガラスや陶磁器のほか、金工、漆工、染織など多くの素材、技法、表現があります。工芸という大きな枠で広く柔軟にとらえながら、適宜わかりやすくご紹介してまいります。</li> </ul>
<p>考古歴史民俗部門はどうなるのかの方向性を明示すべきである。</p> <p>市立博物館所蔵のガラス・陶磁器以外の資料はどうなるのか。</p>	<p>民俗資料や埋蔵文化財については今後の博物館の方向性と合わせて有効活用を検討しております。</p>
<p>工芸美術館の新たな目玉が重要であり(物に限らず)、それを具体的に明記してほしい。</p>	<p>工芸は近年特に注目されている分野のひとつですが、専門の美術館は限られています。このことから工芸美術館そのものが目玉といえます。また、市立博物館にはなかった体験工房で、制作を通じながら工芸美術に親しみ楽しんでいただくことも計画しております。</p>

ご意見	市の考え方
8. 計画全般について(10件)	
博物館、美術館が既にあるので、さらに工芸美術館を造るのは税金の無駄遣いである。建築にお金を使わねばならない理由とは？	本計画は、工芸美術に特化した美術館と版画に特化した美術館という特徴ある2つの美術館を隣接させ、連携して活動を展開することで、文化芸術でにぎわう“美術ゾーン”の実現とイメージ形成を図ります。これにより芹ヶ谷公園の魅力を高め、さらに、まちとしての魅力向上と中心市街地の賑わいの創出を目指しています。 なお、博物館については、民俗資料や埋蔵文化財の活用方法と合わせて、今後の方向性を検討しております。
国際版画美術館と工芸美術館の相乗効果で公園の魅力向上を期待する。	美術館が立地する芹ヶ谷公園南側についても、同時期に再整備を行うことにより、美術館と公園が一体となった美術ゾーンを形成し、相乗効果により、公園の魅力を高めていきます。
工芸美術館は町田の文化にどう貢献できるのか。町田の文化をどう理解して、基本理念を策定しているのか。	町田市には博物館のほか、国際版画美術館、文学館、市民ホールなどがあり、文化芸術を普及する素地があります。工芸美術館はこうした文化施設として文化振興への貢献が期待できるものと考えられます。
工芸美術のほんの一部でしかないガラス・陶磁器のみを分離して工芸美術館とする必要が理解できない。博物館を「郷土民芸館」として、生活を表現するさまざまな工芸美術分野を扱っていいのではないか。また、博物館の増築もしくは版美の附属施設程度で十分である。国際版画美術館の展示活動などのレベルアップをして集客し、市民が文化や美術を楽しむ空間にお金をもっと使ってほしい。	本計画は、工芸美術に特化した美術館と版画に特化した美術館という特徴ある2つの美術館を隣接させ、連携して活動を展開することで、文化芸術でにぎわう“美術ゾーン”の実現とイメージ形成を図ります。これにより芹ヶ谷公園の魅力を高め、さらに、まちとしての魅力向上と中心市街地の賑わいの創出を目指しています。 なお、博物館については、民俗資料や埋蔵文化財の活用方法と合わせて、今後の方向性を検討しております。
人気のあるガラスや陶磁器を工芸美術館へもっていくとなると、残る博物館の集客力低下が予想される。博物館と工芸美術館に二分することで集客力の弱い施設が2つできるだけではないか。よって建設には反対である。	本計画は、工芸美術に特化した美術館と版画に特化した美術館という特徴ある2つの美術館を隣接させ、連携して活動を展開することで、文化芸術でにぎわう“美術ゾーン”の実現とイメージ形成を図ります。これにより芹ヶ谷公園の魅力を高め、さらに、まちとしての魅力向上と中心市街地の賑わいの創出を目指しています。 なお、博物館については、民俗資料や埋蔵文化財の活用方法と合わせて、今後の方向性を検討しております。
「工芸美術館整備」の「整備」とはどのような意味合いか。新設・設置・建設等と称するものではないか。	美術館を建てると同時に、美術館と周辺環境との調和や、芹ヶ谷公園のアクセス向上なども含めて“美術ゾーン”の形成を図ることを視野に入れて計画しております。

ご意見	市の考え方
8. 計画全般について(10件)	
<p>国際版画美術館の現状も勘案したうえで、賑わいのあるまちを実現できるのか疑問である。まして、開館後は工芸美術品の新規購入など、納税者感情から賛同しがたい。</p>	<p>本計画は、工芸美術に特化した美術館と版画に特化した美術館という特徴ある2つの美術館を隣接させ、相乗効果により文化芸術でにぎわう“美術ゾーン”の実現とイメージ形成を図ります。これにより芹ヶ谷公園の魅力を高め、さらには、まちとしての魅力向上と中心市街地の賑わいの創出を目指しています。</p> <p>なお、博物館については、民俗資料や埋蔵文化財の活用方法と合わせて、今後の方向性を検討しております。</p>
9. その他(3件)	
<p>町田荘跡地に、市民が交流・工芸体験ができる施設を作り、国際版画美術館・工芸美術館と『まちの賑わいを呼べるゾーン』を形成してほしい。また、周辺大学の外国人留学生が楽しめるような、日本文化を紹介するような内容も盛り込めるといいのではないか。</p>	<p>美術館来館者や公園利用者の方など多くの方にご利用いただけるような活用方法を検討してまいります。</p>
<p>総合美術館がないのに版画美術館というのはいかがなものか。</p>	<p>周辺都市に多くの美術館がある中で、国際版画美術館は専門性を高くすることで特色を出し、開館以来多くの方にご利用いただいています。</p>
<p>もともと「郷土資料館」として設置された、現市立博物館の廃止に断固反対である。「町田の歴史」を目で見て体系的に学ぶことのできる施設は早急に必要である。町田市は歴史・文化(財)に対する認識が極めて低く予算も貧困で、多くの遺跡や土器、または歴史的資料を有しているにもかかわらず公開施設の状況は誠にお粗末である。郷土の歴史を学べ、かつ関心を持ってもらえるようなサービスを求めたい。</p>	<p>博物館の今後については重要な課題と認識しております。博物館の所蔵資料については、有効活用を図るべく関連部署と検討しております。</p>